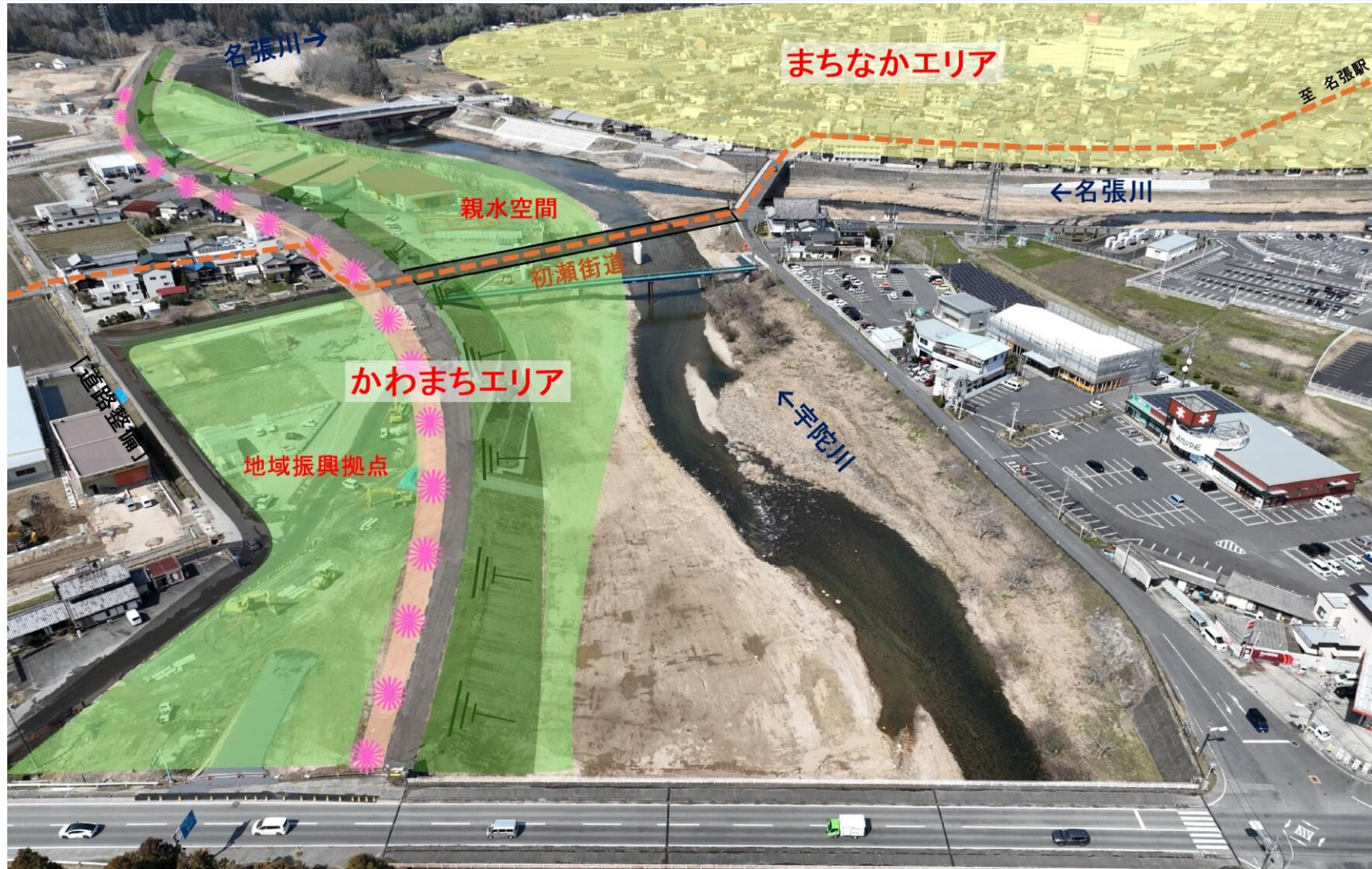


# 都市構造再編集集中支援事業を活用した 『名張かわまちづくり計画』について



令和8年2月  
名張市

## 1)「名張かわまちづくり計画」概要 P2

## 2)名張川・宇陀川合流点 整備概要 P3

『名張かわまちづくり一体型浸水対策事業』(イメージ)

## 3)『都市構造再編集中支援事業』計画案 (R7.4時点)

- 「都市構造再編集中支援事業」の概要 P4
- 「都市構造再編集中支援事業」エリア図 P5-P6
- 「都市構造再編集中支援事業」まちなか整備案 P7-P9
- 「都市構造再編集中支援事業」かわまち整備案 P10
- 錦生地域関連資料 P11-P12

## 4)河川空間の利活用(今後の予定と課題) P13-P14



# 1)『名張かわまちづくり計画』概要

## 【概要】

河川改修により創出される河川空間と、地域活性化や観光振興を推進するまちづくりとの一体整備により、新たにぎわい創出を図るため『**名張かわまちづくり協議会**』を設立。

名張川を活かしたまちづくりに向けハード・ソフト施策等を取りまとめた整備計画「**名張かわまちづくり計画**」を平成30年12月に策定。

(令和6年8月、左岸・**背後地を「地域振興拠点」**として追加承認)

平成31年3月国土交通省への登録により「名張かわまちづくり一体型浸水対策事業」として整備が進められている。

協議会では、名張川を活用し実施している各種イベント等の情報共有や、今後の展開等について継続的に協議を行っている。

## 「名張かわまちづくり」(変更)(三重県名張市)

別紙4

対象河川：一級河川 淀川水系名張川【国管理河川】

市町村名：三重県名張市

推進主体：名張かわまちづくり協議会

### 1. 概要

名張市では、「散策したくなるまちづくり」として、地域文化や歴史資源、豊かな自然を活かし、遊歩道等によるネットワークを整備することにより、地域活性化・観光振興に取り組んでいます。

この取組みの充実を図るため、本計画では、名張川の引堤等の河川改修と併せ、河川空間と左岸背後地の地域振興拠点が一体となった新たな空間創出を図るとともに、これら空間が中心市街地に位置する近鉄名張駅ややなせ宿等の歴史資源との回遊性やネットワークを向上させることで、名張川と宇陀川の合流地点である自然環境を活かした水辺と親しめる場として、「親水空間」等の整備を行いながら、名張市における観光振興・地域活性化を促進していきます。

国土交通省では、この取組に対し、必要な河川管理施設の整備のほか、河川空間において営利活動を実施する場合には、河川敷地占用許可準則22条に基づく、都市・地域再生等利用区域の指定等の支援を実施していきます。

### 2. ハード施策の内容

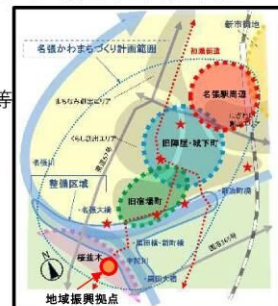
国土交通省：親水護岸、河川管理用通路 等

名張かわまちづくり協議会：地域振興拠点※、さくら並木、案内サイン 等

### 3. ソフト施策の内容

国土交通省：都市・地域再生等利用区域の指定 等

名張かわまちづくり協議会：関係イベントの開催 等



### 整備後イメージ



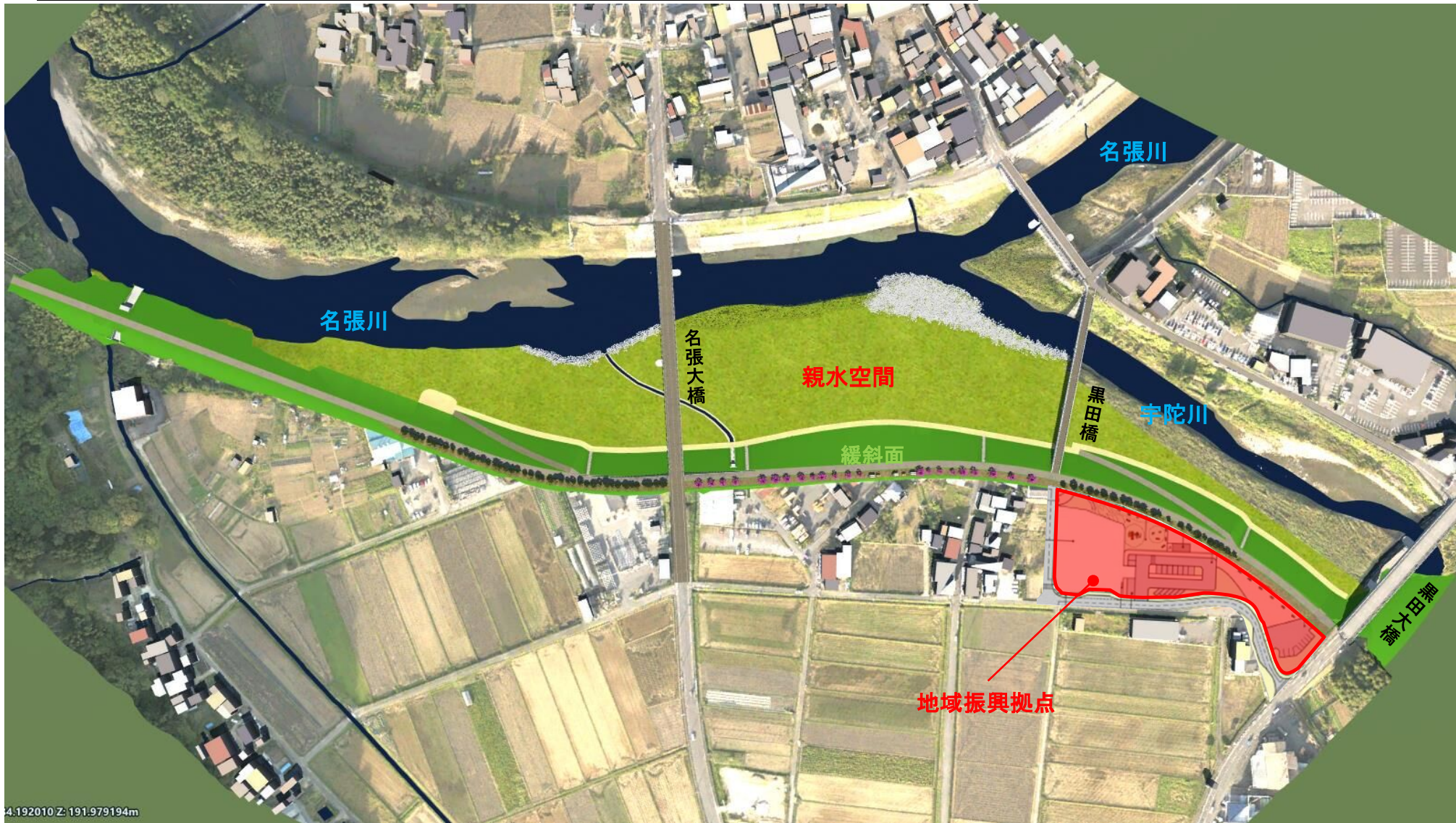
本変更登録は「地域振興拠点」の追加に伴うもの。

※今後、工実施のための詳細な設計等を実施することにより、実施内容を変更する場合があります。  
「かわまちづくり計画」は、国の支援制度に登録されたものであり、実施主体は推進主体となります。



## 2)名張川・宇陀川合流点 整備概要

『名張かわまちづくり一体型浸水対策事業』(イメージ)





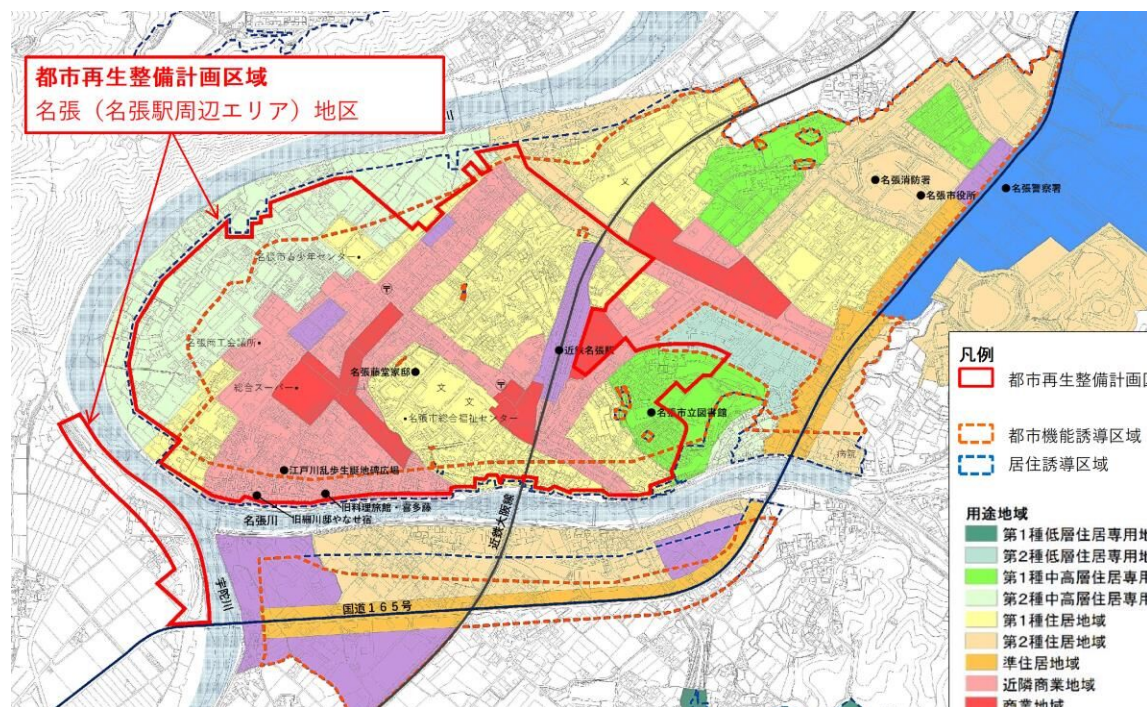
### 3)『都市構造再編集中支援事業』計画案 (R7.4時点)

#### 『都市構造再編集中支援事業』（都市再生整備計画関連事業）【概要】

**都市再生整備計画関連事業**は、地域の歴史・文化・自然環境等の特性をいかした個性あふれるまちづくりを実施し、全国の都市の再生を効率的に推進することにより、地域住民の生活の質の向上と地域経済・社会の活性化を図ることを目的としています。

都市再生整備計画関連事業の一つである**都市構造再編集中支援事業**は、立地適正化計画に基づき地方公共団体や民間事業者等が行う都市機能や居住環境の向上に資する公共公益施設の誘導・整備、防災力強化の取組等に対し集中的な支援を行い、各都市が持続可能で強靱な都市構造へ再編を図ることを目的とする事業です。

今回、この制度を活用し水辺とまちが融合した良好な空間形成を推進する「名張かわまちづくり計画」に示す**親水空間・背後地の「かわまちエリア」と、市街地の「まちなかエリア」**の整備を図ることとします。





# 3)『都市構造再編集中支援事業』計画案 (R7.4時点)

## 『都市構造再編集中支援事業』(全体計画)

### まちなかエリア整備：R10～R11

#### 【基幹事業】(高質空間形成施設)

市道箕曲中村本町線外歩行者帯整備事業L=2.1km  
市道本町夏秋線外歩行者休憩用施設整備事業 四阿N=7基  
市道本町豊後町線外ひやわい散策路整備事業L=2.0km

#### 【基幹事業】(地域生活基盤施設)

まちなか案内板N=4基  
有形登録文化財案内板N=13基  
ひやわい誘導標N=30基

#### 【提案事業】(まちづくり活動推進事業)

まちなか散策マップ作成N=500部

### かわまちエリア整備：R7～R10

#### 【基幹事業】(公園)

(仮称)名張川親水公園整備事業A=1.34ha

#### 【基幹事業】(道路)

市道高柳下川原線L=0.2km

#### 【提案事業】(地域創造支援事業)

高水敷植生工A=38,800㎡

名張かわまちづくり一体浸水対策事業(国土交通省)：H30～R9

- 都市再生整備計画区域
- 都市機能誘導区域
- 居住誘導区域



### 3)『都市構造再編集集中支援事業』計画案 (R7.4時点)

都市再生整備計画区域図





# 3)『都市構造再編集集中支援事業』計画案 (R7.4時点)

## まちなか整備案

まちなか案内板

- ① 名張駅前
- ② 旧老人福祉センター跡
- ③ 旧細川邸「やなせ宿」
- ④ 新町橋橋詰め

登録有形文化財案内板

- ① 梅田家住宅
- ② 山口家住宅
- ③ 小川家住宅
- ④ 岡村家住宅
- ⑤ 中井家住宅
- ⑥ 保田家住宅
- ⑦ 貝増家住宅
- ⑧ 大和屋本舗
- ⑨ 木屋正酒造
- ⑩ 川地写真館
- ⑪ 山中家住宅
- ⑫ 旧細川邸住宅
- ⑬ 旧喜多藤別館
- ⑭ 清風亭

地域生活基盤施設[まちなか案内板・登録有形文化財案内板・ひやわい誘導標]





### 3)『都市構造再編集集中支援事業』計画案 (R7.4時点)

#### まちなか整備案

高質空間形成施設[休憩施設・歩行帯整備・ひやわい散策路整備]

休憩施設

- |             |          |
|-------------|----------|
| ① 駅前観光案内所   | [四阿・ベンチ] |
| ② 名張消防署跡地   | [四阿・ベンチ] |
| ③ ふれあい駐車場   | [四阿・ベンチ] |
| ④ 鍛冶町公園     | [四阿・ベンチ] |
| ⑤ 新町集会所     | [四阿・ベンチ] |
| ⑥ 豊後町公園     | [四阿・ベンチ] |
| ⑦ 旧老人福祉センター | [ベンチ]    |
| ⑧ 一の鳥居      | [ベンチ]    |
| ⑨ 鍛冶町橋橋詰め   | [ベンチ]    |
| ⑩ 乱歩生誕地碑広場  | [四阿・ベンチ] |

歩行帯整備

ひやわい散策路整備





# 3)『都市構造再編集集中支援事業』計画案 (R7.4時点)

## まちなか整備案

地域生活基盤施設・高質空間形成施設の整備概要(イメージ)

地域生活基盤施設

高質空間形成施設

まちなか案内(イメージ)



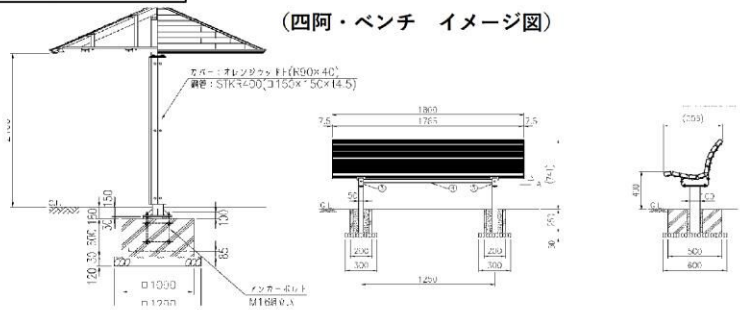
登録有形文化財案内(イメージ)



ひやわい誘導標

検討中

休憩施設(イメージ)



歩行帯整備(イメージ)



ひやわい散策路整備

検討中



# 3)『都市構造再編集集中支援事業』計画案 (R7.4時点)

## かわまち整備案

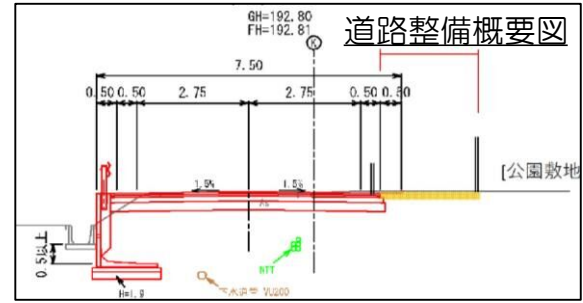
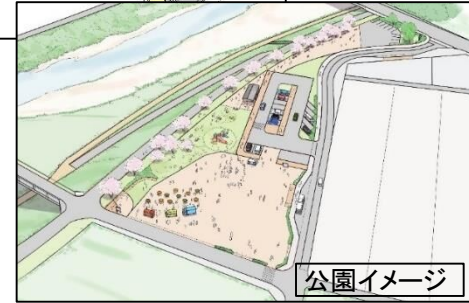
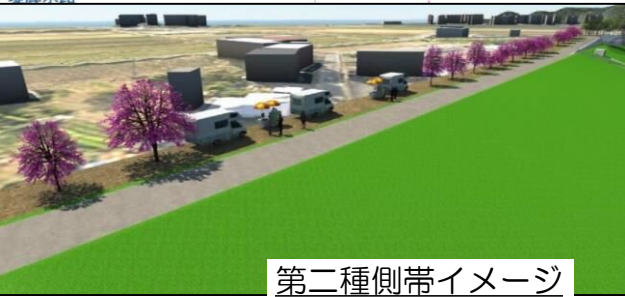
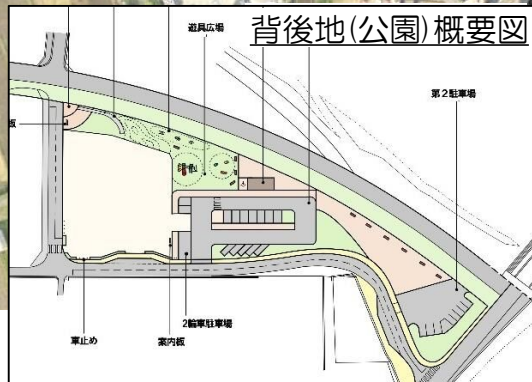
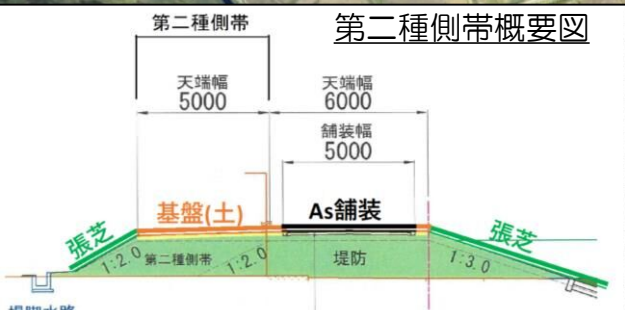
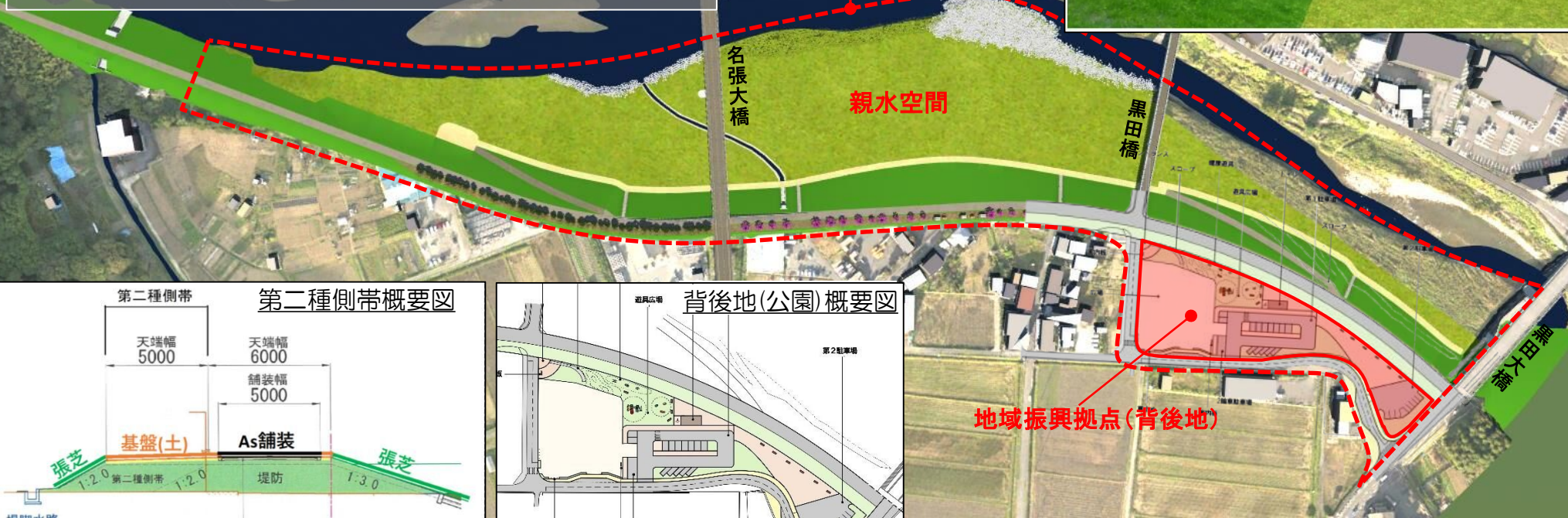
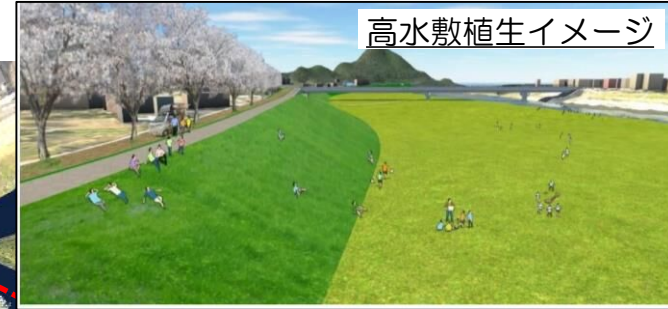
### 整備概要

公園整備(地域振興拠点)・休憩施設・遊具・駐車場・トイレ  
道路整備(市道高柳下川原線)・片側歩道付2車線道路  
第二種側帯・桜並木・休憩施設  
高水敷・地被植物植生

かわまちエリア

親水空間

高水敷植生イメージ





# 3)『都市構造再編集集中支援事業』計画案 (R7.4時点)

## 地域関連資料

### 錦生地域関連資料(1)

名張市総合計画～なばり新時代戦略～第3章・地区別計画(2023.3/名張市)

#### 地縁法人 錦生自治協議会

##### 現状と課題

錦生地域は、市の西部に位置し、中央部を流れる宇陀川沿いに基盤整備された優良農地と農業集落及び地域の西側は奈良県と接し、茶臼山をはじめとする豊かな森林地帯で構成されています。

古来より、宇陀川や初瀬街道を通じ人の往来が頻繁で、現在も国道165号による三重と奈良、大阪方面を結ぶ交通の要所であり、また、赤目四十八滝等への観光客のアクセスルートとなる名張の西の玄関口としての役割を担っています。

また、黒田庄や竜口城址・城山城址など、地域の歴史、文化や伝統行事を有し、これらを後世に残すため、保存し継承していくことが必要です。

##### まちづくりの将来像

##### 「活力と潤いのあるまちづくり、人づくり」

「自分たちのまちは自分たちでつくる」の観点から、住民の思いや願いを反映し、活力と潤いのあるまちづくり、人づくりを目指します。



##### まちづくりの基本方針

###### ▶ 自然保護と地域整備

地域住民の生活に潤いと安らぎを与え、地域住民が身近に水に触れ憩うことができるよう、遊歩道の整備や宇陀川の水辺環境を貴重な資源として有効利用し、ホタルの乱舞する親水空間の創出など自然と調和した安心・安全な景観形成を進めます。

また、地域住民が健康で生き生きと暮らせるよう地域内にある里山から背後に繋がる歴史ある山へ手軽に登れるウォーキングコースの整備に取り組みます。



阿清水川で乱舞するホタル



宇陀川の現況



ウォーキング大会



ウォーキング大会

##### まちづくりの基本方針

###### ▶ 史跡の保存と活用

黒田庄や竜口城址・城山城址などを地域共有の財産として積極的に保存・継承し、人と人のつながりの持てる文化の薫る魅力的で活力のあるまちづくりを目指します。



竜口城址



城山城址

###### ▶ 地域におけるコミュニティビジネスの創出

肥沃な土地から生産される、米や野菜、国道165号線の地の利を活用し、新しいコミュニティビジネスを創出し、地産地消の促進と地域住民の交流を図ることができる事業を展開します。

###### ▶ 安全・安心のまちづくり

地域住民が安全・安心に暮らせるよう、地域全体で防犯活動に取り組みます。

また、自主防災体制の充実・強化に取り組むとともに、危険地帯の事前把握を行いハード面での充実・強化を図り災害を未然に防ぐよう取り組みます。



砂防ダム



避難所収納庫の備品点検

###### ▶ 人づくりと思いやり

地域の暮らしを支え、豊かで暮らしやすい地域づくりを図る上での移動手段として、誰もが安心して利用できる地域コミュニティバス「ほっとバス錦」の効率的かつ安定的な運営に取り組むとともに、地域の高齢者がはたらき活躍できる場づくりを進めます。



ほっとバス錦



区民運動会



高齢者のつどい



# 3)『都市構造再編集集中支援事業』計画案 (R7.4時点)

## 地域関連資料

### 錦生地域関連資料(2)

錦生グランドデザイン2010(錦生自治協議会)

#### 錦生の魅力的な景観を創る！

##### ● 地域活性化ビジョン ●

###### 環境・整備ビジョン…自然保護と地域整備

自然を守り、宇陀川河川敷の有効利用とウォーキング道路、河川公園、総合運動公園等の設置と共に、名阪国道へのアクセスの早期実現。

###### 歴史・文化ビジョン…史跡の保存と活用

歴史と文化の継承と伝承を基本とし、地域の歴史、文化、風俗等の歴史資料館の設立と人と人のつながりの持てる町づくりを目指す。

###### コミュニティ・ビジネスビジョン…地域に於ける創造機会の創出

地域ニーズに応じた「自発的」「自主的」な住民活動の取り組みにより自主財源の確保と充実を目指すと共に企業誘致と雇用機会の促進を図る

###### 生活・活性化ビジョン…人づくりと思いやり

地域住民の「安心」で「安全」な生活の確保と、地域高齢者社会に於ける生活の活性化を図り、救急、救命施設の設置を目指す。

##### ● 錦生将来ビジョン ●

###### 錦生地区将来のコミュニティ施設

###### 錦生地図



1. 幼児、子供用公園
2. 総合運動公園
3. 歴史資料館
4. 救急救命施設
5. 工業団地
6. 道の駅(朝市)
7. 名阪へのアクセス道路
8. 河川遊歩道及びサイクリング道路

#### 宇陀川流域の景観と創造

1. 歴史的背景に基づく熊岩井堰周辺(壬申の乱…白鹿伝説)の整備
2. 河川に沿った、遊歩道及びサイクリング道路の整備。
3. 幼児、子供用河川公園、高齢者用グランドの整備設置。
4. 河川景観の整備
  - 1) 桜並木の創造
  - 2) ネコヤナギの観光スポットの整備
  - 3) 蛍の乱舞する環境作り
  - 4) 鮎、鯉等川魚の住める環境



#### 宇陀川地図



宇陀川



宇陀川(雪の朝)



# 4)河川空間の利活用(今後の予定と課題)

## 河川空間のオープン化

### ☆河川空間のオープン化とは

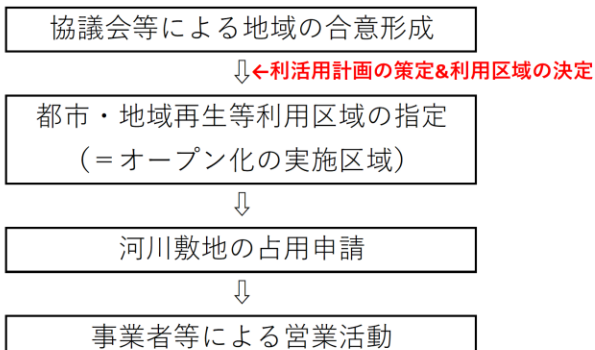
河川敷地の占用は、原則として公的主体（地方公共団体等）に限られており、営業活動を行うことはできませんでした。が、「河川空間を積極的に活用したい」という要望の高まりを受け、平成23年に河川敷地占用許可準則を改正し、一定の要件を満たす場合には、特例として民間事業者も営業活動を行うことができることをいう。

### ☆河川空間のオープン化の概要

#### オープン化が適用できる要件

- 河川敷地を利用する区域、施設、主体について地域の合意が図られていること。
- 通常の占用許可でも満たすべき各種基準に該当すること。  
(治水上、利水上支障がないこと)
- 都市・地域の再生及び河川敷地の適正な利用に資すること。

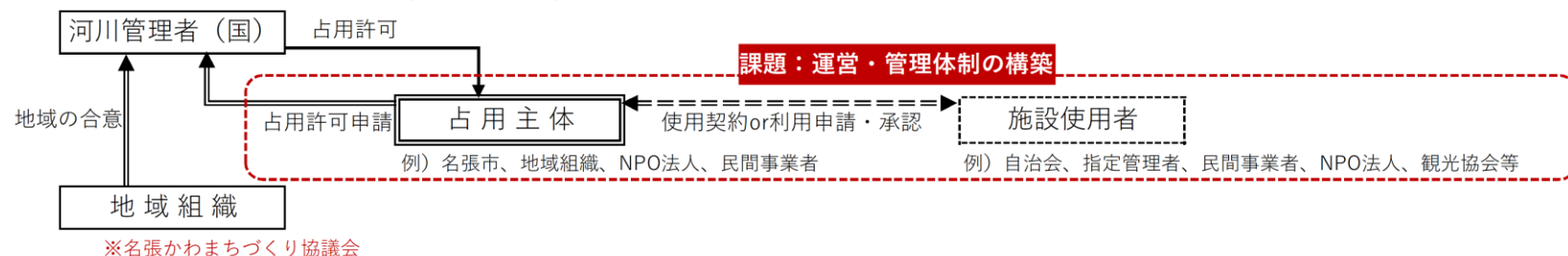
#### オープン化の主な流れ



#### 都市・地域再生等利用区域における占用許可が必要な施設

- ①広場、イベント施設、遊歩道、船着場
- ②上記施設と一体をなす飲食店、売店、オープンカフェ、広告板、広告柱、照明・音響施設、キャンプ場、BBQ場、切符売場、案内所、船舶修理場等
- ③日除け、船上食事施設、突出看板、川床
- ④その他都市・地域の再生等のために利用する施設

### ☆河川空間のオープン化（河川利用）の事業スキーム





# 4)河川空間の利活用(今後の予定と課題)

## 河川空間のオープン化

 :都市・地域再生等利用区域(オープン化実施区域)[予定]

『名張かわまちづくり計画』 「都市・地域再生等利用区域」 指定範囲(案)

